

いたちかわらばん

通刊64号

鮠川・狹川 / 河原番・瓦版

'13 冬号



【版画 宗森英夫】

【ハクセキレイ】

いたち川で見られる鳥たち

いたち川を賑わしてくれる冬鳥の季節です。そこで、今回は、いたち川で見られる鳥たちを紹介することにしました。

一年中みられる鳥としてはカワセミ、カルガモ、サギ類、セキレイ類がいます。サギ類はコサギ、アオサギ、ゴイサギで、チュウサギ、ダイサギは見られません。

セキレイ類はハクセキレイ、キセキレイ、セグロセキレイが見られます。

季節の鳥としては、初夏にツバメやウグイスが見られ、冬にはマガモやコガモ、オナガカモが見られます。また、時たま飛来する鳥としては、海鳥のカモメやウミネコがいます。カワウも時々飛来します。

いたち川と合流する柏尾川では、バンやクイナが見られ、シギ類やチドリがいます。

本来は川辺の鳥ではありませんが、いたち川周辺でもよく見かける鳥としてはメジロ、コゲラ、ヒヨドリ、シジュウカラ、ムクドリ、キジバト、カシラダカ、モズ等もいます。また、上流部ではノビタキ、ジョウビタキ、ホオジロ、オナガ、オシドリなどが見られます。

このように見てくると、いたち川周辺で四十種以上の鳥たちを見ることが出来ます。川辺を散歩しながらバードウォッチングを楽しむのもいいですね。

(コゲラ)

栄区民まつり～MISIAの森 プロジェクトゾーン

今年も秋空のなか、11月2日第14回栄区民まつりが本郷中学校校庭で開催されました。栄区民まつりは年毎に盛んになり、他県からの参加も多く、長野県栄村、青森県南部町、山形県鶴岡市、高畠町、宮城県石巻市、山梨県道志村などの友好都市の地場産農産物の出店、地元のお店、ボランティア団体の出店が並び、会場の賑わいを演出しました。また、ステージ上では、こどもたちの体操やダンス、セーフコミュニティの認証式にも出演したヒダノ修一氏の太鼓のコンサートなどが行われ、来場者の歓声を浴びました。最終的にまつりに訪れた参加者は5万5千人に達する盛況さだったとのこと。

さて、今年の区民まつりには、大きな特色がみられました。それは、栄区の森の魅力をもっとPRしていこうという積極的なキャンペーンです。会場の一角に森の楽しさを伝えるブースを集めた「MISIAの森プロジェクトゾーン」が展開されました。このMISIAの森プロジェクトは、栄区周辺の森の魅力を区内外へ発信していこうという取組です。栄区は横浜市のなかで緑地率が2位の区ですが、もっと多くの方に緑の魅力を知っていただこうと、自然環境など社会貢献活動に積極的な歌手 MISIA と魅力発信に取り組んでいるそうです。ゾーンの中では、藁と竹で作った秘密基地づくりや、栄区に住む生き物の紹介のテントなどが設置され、様々なテントから栄区の自然の魅力を発信していました。昔ながらの竹を使ったおもちゃ、竹ぼっくりや竹剣玉もこどもたちには珍しかったようで好評でした。

また、体育館の中では、巨大ドームテントが現れ、音や香り、映像、満天の星空などにより森の魅力に触れることのできるシアターが上映。多くの方が実際に森を訪れる魅力を感じていたようです。



MISIAの森プロジェクトゾーン入口



MISIAの森シアター



上郷森の会 - 森のブース



森の間伐材を利用した遊具コーナー 左から シーソー、積み木、竹ポックリ、動く木工遊具

発行年月 2013年12月 通刊64号

発行: 狹川 OTASUKE隊 (いたちかわおたすけたい)
 OTASUKE隊事務局: 栄区役所区政推進課企画調整係 〒247-0005 横浜市栄区柱町 303-19
 TEL 045-894-8161 FAX 045-895-2260
 栄土木事務所下水道・公園係 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-6-1
 TEL 045-895-1411 FAX 045-895-1421
 (お便り・お問い合わせは こちらまで)

切り取り線

この部分を切り取ってファイルにすると便利です



いたち川流域にある富士講の碑

山も川も海も大昔から自然信仰の対象となっていたことは良く知られています。今年6月に世界文化遺産（正式名称：富士山—信仰の対象と芸術の源泉）として登録されて、日本人の心の拠り所としての富士山が、新たに注目されています。

山岳信仰には、人間の日々の暮らしに欠かせない糧を得る農耕や狩猟、採集をする人々が身の安全を願い、天地自然や気候の安定を祈り、豊作を祈願しながら畏怖・畏敬の思いで山に向かって手を合わせて拝んだのが始まりで、やがて、神が宿るところ、神が天から降臨してくる所と信じられて、雨乞い等が行われたり、高い山や形が良く目立つ山が選ばれて祭紀が行われるようになったり、修行の場になったり、という歴史があります。江戸の昔、お山詣りは信仰を兼ねて名所を見物しながら道中の旅を楽しむ物見遊山（ものみゆさん）であり、当時の男性が楽しみにしていた娯楽でした。当時、女性は一行に加わることはできず留守を守る役割でしたので、男性にとってはゆっくり羽を伸ばして遊ぶ楽しみでもあったことが落語にも登場する大山詣りや芝居などを通して良く知られています。

今回は富士山の世界文化遺産登録を機に、当地でのお山詣りの名残を留める富士講の石碑をいたち川の近くで訪ねました。本郷ふじやま公園、笠間、公田と岩瀬の境界の3か所を訪れて、石碑の存在を確かめました。栄区内には石仏、石碑が各所にありましたが、住宅地の開発や道路の新設・改修等で元の場所から移されてしまったものも多く、行方不明になっている碑もあると聞いています。

写真① 今年開園10周年を迎えた本郷ふじやま公園には山頂に小さな富士塚があり、その上に石碑が三つあったのが、今から90年前の関東大震災で盛り土の塚の部分が崩れて石碑のみが残ったものを公園つく



写真① 本郷ふじやま公園の山頂に立つ石碑

りの際に据え直したもので、一番大きな石碑には正面中央に『参明藤山』と刻まれています。両脇に山主、導師、先達の名が彫っており、台座には本郷六力村と今泉村の講中の世話人の名があります。二つ目には『南無妙法蓮華教』と彫ってある題目塔、三つ目は富士講の開祖とも関わりがある『食行身禄大菩薩』と彫ってあります。その横にある細長い石碑には『小御岳石尊大権現』と彫ってあり、本来は5合目にある碑と言われ、本郷ふじやま公園の開所の時にはまだ見つかっていませんでしたが、その後、ボランティアによる草刈りの時に山の中腹から見つけられて掘り起こされたものです。今はその1基を加えた4基が本郷ふじやま公園の一番高い場所に整然と立っています。



写真② 笠間十字路近くの石碑

写真② 笠間のバス通り脇の高いところに石碑が集められている所があり、写真そこに大きな山岳信仰の石碑が三つ並んでいます。左側の大きな碑に『富士浅間太神』と中央に彫ってあり富士講碑と思われます。

写真③ もう1か所、横浜市と鎌倉市の境界の山の上（公田村と岩瀬村の村境）に、ひっそりと1基だけで立っている石碑に『南無仙元大菩薩』と彫ってあり、台座に世話人と横書きがあって下に名前がありますが良く読めませんでした。



写真③ 湘南ハイツ近くの山中に立つ石碑

以上の3か所は確認できましたが、他にいたち川の近辺に富士講の碑があるのをご存知の方は OTASUKE 隊員、または、事務局までお知らせくださるをお願いします。（うぐいす）

富士講だ！聖なるお山だ！信仰だ！などと窮屈に考えることはない。旅の途中には遊女宿あり、歓楽・観光施設あり・・・お参りにかこつけての楽しみは山ほどあった筈だから。ちなみに、富士山のおそばに目を向けてみると、落語で有名な「大山詣り」がある。大山阿夫利神社は、博打と商売にご利益があるため大勢の江戸っ子達が参詣に押しかけていた。

落語の中では、母ちゃんたちを家に残したまま神社にお参りしたり、神奈川宿に泊まったり、帰り道の金沢八景で舟遊びをしたり、大金をはたいて三枚駕籠（早駕籠）で江戸まで帰ったりする・・・等々享楽にふける大らかな庶民生活が活写されている。

（ピンテール）

石原の水辺が完成しました

尾月橋上流部は、震災対策の下水道管の基地と成っていたため河川工事が中断されていましたが、今回石原の水辺の工事が終了して市民に開放されました。

完成した石原の水辺は、尾月橋と石原橋の間およそ200m、河川敷の幅およそ100mの規模です。本誌の前々回62号で工事の概要と整備内容について栄土木事務所の方に紹介して頂きました。

これまで、いたち川の散策は、尾月橋で車道に出て上流を目指していましたが、完成した石原の水辺への散策道は尾月橋の下を潜って石原の水辺広場に行き、いたち川を見下ろしながら石原橋にたどり着くことができます。

完成した石原の水辺は下流に見られる扇橋の水辺、稲荷森の水辺、坊中の水辺に続く4番目の水辺の広場です。いたち川の南斜面のつつじ園と合わせるといたち川流域最大の広場になるものと思われれます。これまで造られている三つの水辺と比較しますと全く違ったタイプです。前者が水辺に親しむ場所と遊水効果を重点に造られていたのに対し、石原の水辺は多目的の広場が広がり人工的構造物が目立つように思えます。その他の特色として上流域に当たる石原橋から見下ろす所に白い扇形の階段で、水辺に下りられるモダンな親水施設ができました。

水辺に隣接して上郷市民の森があるために、この地域は特に自然豊かで、石原橋周辺の水辺では季節を問わず水鳥の姿がみられます。広場から森に行くには石原橋を渡り梅林をぬけ、アジサイロード沿いに階段を上ると森の入口です。森の周辺はきれいに整備され、早春の梅林、5・6月の川辺のつつじ園、初夏のアジサイロード、秋は森の斜面のツワブキ、晩秋は森のモミジの紅葉、そして森の展望台からは、富士・箱根・丹沢山地の素晴らしい展望が楽しめます。

水・人・子（ミジンコ）

